

安全にお使いいただくために（本機をご使用前にお読みください。）




- ご使用前に「かんたんスタートガイド」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」と共に大切に保管してください。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


絵表示の例


図の中や傍傍に具体的な禁止内容が描かれています。


 感電注意
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
 分解禁止
⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。
 電源プラグをコンセントから抜く
●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。


警告


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


- **万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く**
 - 煙や異臭、異音が出たとき
 - 落としたり、破損したりしたとき
 - 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったときそのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。


- **ご使用は正しい電源電圧で**
表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。


- **電源コードは大切に**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。


- **電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは**
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


- **火や炎を近づけない**
本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。

- **内部に水などの液体や異物を入れない**
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。


- **水滴や水しぶきのかかるところに置かない**
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。


- **ねじを外したり、分解や改造したりしない**
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。


- **雷が鳴り出したら**
機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。


- **使用中、使用直後に高温となる部分には触らない**
使用中、使用直後は上面や高温注意マークの面には触れないでください。機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。


- **高温注意**


- **乾電池は充電しない**
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

- **風呂・シャワー室では使用しない**
火災・感電の原因となります。

- **この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない**
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。


- **必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んで使用する**
本機は国内仕様です。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

- **安全アースは必ず接続する（電源プラグが 3 ピンの機器のみ）**
本機は安全アースを接続してご使用頂けるように設計しています。電源プラグが直接コンセントに差し込めない場合は、付属の電源プラグ（3P → 2P）を使用してコンセントに差し込んでください。その場合は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。


- **接続時に感電の恐れあり**
本マークが表示された端子は、感電の恐れがある電圧が出力されます。接続には施工業者または弊社サービスマンにご依頼いただくか、簡単に接続できるようにあらかじめ加工されたケーブルをご使用ください。


注意


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


- **付属の電源コードを使用する**
他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。電流量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。


- **電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない**
電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。


- **電源コードを熱器具に近付けない**
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。


- **電源プラグを抜くときは**
電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。


- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因となることがあります。

- **すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する**
電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。


- **付属の AC アダプターを使用する（AC アダプターを使用する機器のみ）**
製品に同梱している AC アダプターのみ使用してください。製品に同梱していない AC アダプターは使用しないでください。火災・感電の原因となります。


- **AC アウトレットのご使用は表示供給電力内で（AC アウトレット（電源コンセント）付き機器のみ）**
この機器の AC アウトレットが供給できる電力は後面パネルに表示されています。接続する装置の消費電力の合計が表示されている W（容量）を超えないようにしてください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

- **機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう**
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

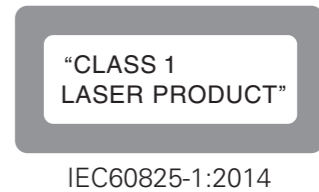
- **電源を入れる前には音量を最小にする**
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。


- **長時間音が歪んだ状態で使用しない**
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。


- **ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない**
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。


- **ディスク挿入口に手を入れない**
特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。


- **レーザー光源をのぞき込まない**
レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。



- **次のような場所には置かない**
火災・感電の原因となることがあります。
 - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところ
 - 湿気やほこりの多いところ
 - 直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

- **壁や他の機器から少し離して設置する**
 - アンブは 30cm 以上
 - その他の機器は 10cm 以上放熱をよくするために、他の機器との間は上記の距離を離して設置してください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から上記の隙間を確保してください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- **充電するとき、micro USB/USB 接続端子に無理な力を加えない**
micro USB/USB 接続端子にて充電する際には、無理な力を加えないでください。斜めに差したり、差した状態でコード部を持ち、引っ張ると、端子部が故障・破損し、火災の原因となります。

- **通風孔をふさがない**
内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 - あお向けや横倒し、逆さまにする
 - 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - テーブルクロスをかけた、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグをコンセントから抜く



注意

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまっまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



必ず実施

リチウムボタン乾電池を廃棄するときは

＋、－端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄するとショートして、発火・破裂の原因となることがあります。

□ 乾電池使用上のご注意

- 乾電池には発煙、発火、爆発の恐れがありますので、以下の内容をご注意ください。
- 指定された乾電池をリモコンに入れてください。
- リモコンを本機の近くで操作しても本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用ですので、早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりにⓉ側・Ⓚ側を合わせて正しく入れてください。
- 乾電池の破損や液漏れを防ぐには：
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 乾電池を充電しないでください。
 - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
 - 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所に乾電池を保管しないでください。
- 乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例に従って処理をしてください。
- 充電式電池を使用すると、リモコンが正しく機能しないことがあります。

□ リチウムコイン / ボタン電池使用上のご注意

警告：

- 電池や化学物質には危険性があります。
- 本製品に付属のリモコンには、コイン/ボタン電池が内蔵されています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、わずか2時間で内部で火傷を引き起こし、死に至ることがあります。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。電池蓋がしっかりと閉じない場合は、ご使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだりしたと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

□ 充電式電池使用上のご注意

- 充電式電池には発煙、発火、爆発の恐れがありますので、以下の内容をご注意ください。
- 充電式電池を火に投げたり、電池を加熱したりしないでください。電池の発熱・火災・破裂の原因となります。
- 充電式電池には、鋭利なもの（釘など）で刺す、ハンマーで叩く、または踏むなどの強い衝撃を与えないでください。電池の発熱・火災・破裂の原因となります。
- 本機の内部に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- ヒーターやストーブバーナーの近く、直射日光の当たる場所、暑い日の車内など、高温の場所で本機を充電・使用・設置しないでください。電池の発熱・火災・破裂の原因となります。
- 上記の動作は、性能に影響を与え、内部充電式電池の寿命を短くする可能性があります。
- 直ちに使用を中止し、本機の使用・充電・保管中に異臭や発熱が発生した場合、または変色などの異常が検出された場合は、販売店または製造元にご連絡ください。
- 常に下記の予防措置を守ってください。
 - 本機を電子レンジや高圧容器に入れないでください。
 - 本機を電磁調理器の上に置かないでください。
 - 内蔵充電式電池を電源コンセントまたは車のシガレットライターソケットに接続して再充電しないでください。
 - 製造業者が指定した再充電の手順と条件を厳守してください。
- 液体が充電池から漏れて目に入った場合は、目をこすらないでください。この場合、水道水などで十分に目を洗浄し、すぐに医師の診察を受けてください。目を放置しておく、視力障害を引き起こす可能性があります。
- 医療機器・自動ドア・火災警報器などの近くで本機を使用しないでください。本機の信号が本機の動作を妨げ、誤動作や事故の原因となります。
- 所定の充電時間が経過しても充電が完了しない場合は、再充電を中止してください。充電式電池を再充電すると、電池の発熱・火災・破裂を引き起こす可能性があります。

□ Wi-Fi および有線 LAN について

Wi-Fi および有線 LAN を利用する場合には、電気通信端末機器認定品の市販ルーター等に接続してください。

□ 録音機能について

あなたが録音したコンテンツは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

□ 仕様について

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

□ VCCI について

製品に VCCI マークが表示されている場合、VCCI 対象製品になります。ご購入の製品本体表示をご確認ください。



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
V C C I - B

保証と修理について

□保証書について

この製品には保証書が添付されております。

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間は保証書をご確認ください。

□保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

□保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

□修理料金のしくみ

- 技術料.....故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代.....修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料.....製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

□補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

□修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

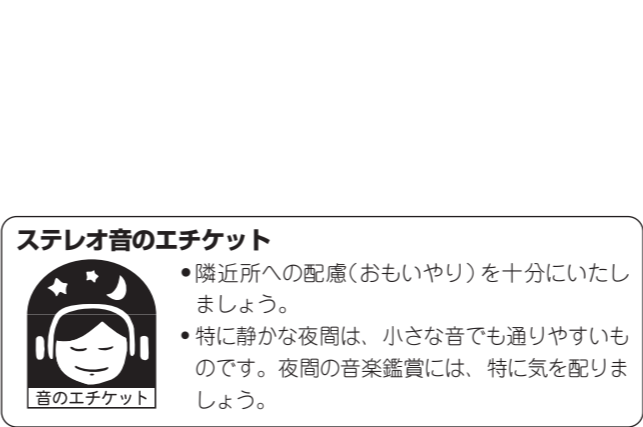
- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

□依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 …… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 … 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

□お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。